竹林

白河市立五箇中学校だより　No.３５

発　　行　　令和３年１２月１０日
発行責任者　　校長　菅野　　靖

来年の五箇中学校をリードする生徒会役員選挙実施

【立候補者による立会演説と責任者の応援演説】

１２月３日（金）に、令和４年度生徒会立会演説会が行われました。立候補者は、生徒会の活動で、これからの五箇中学校をどのようによくしていきたいのか、具体的な対策など自分の考えや思いを公約として訴えていました。応援演説者は立候補者の人柄や生徒会を任せられる信頼できる人物像などをアピールし、立候補者も応援者も五箇中のため生徒のための使命感あふれる演説でした。有権者の生徒は、立候補者の演説に真剣に耳を傾けた、よりよい五箇中学校にしていくためのリーダーにふさわしい人物を選出していました。演説会終了後に、別室で投票が行われ、無言で真剣に責任ある一票を投じていました。

選挙権が 18 歳となり、学校教育で主権者教育の推進が求められています。中学３年生は、３年後から国政選挙や地方選挙に参加するようになります。立候補者の政見や施策を理解し、賛同する証として、自分の一票を投じることが、政治や行政に責任をもって参加することとなり、国民、県民、市民として大切なこととなります。このように、今回の生徒会立会演説会と選挙は、一人一人（立候補者や有権者）が成長する意味でも、よりよい五箇中学校（社会）を作り出す意味でも大切なものとなると思います。

キャリア教育講演会

五箇中の先輩【穂積俊平さん】によるキャリア講演会

【講演会の様子】

１２月６日（月）に NPO 法人「住みよい五箇をつくる会」の薄井さんの紹介で、五箇中学校の卒業生の穂積俊平さんを講師にお招きし、キャリア講演会を開催しました。穂積さんは、東京大学大学院創造情報学専攻を卒業し、「しくみ製作所株式会社」のＩＴエンジニアとして活躍されており、会社は、所在地を持たないリモートワークによる勤務形態で、板橋に住居を構え、オンラインイベントサービスやコミュニティーの構築、アプリの制作などを行っています。講演会の中で、今までの働き方との比較や１日の時間の運用の仕方、経済事情や自己管理能力などリモートワークの良い点や課題などについて、分かりやすくお話しいただきました。また、働く上で大切なこととして、「夢はあった方が良いが、ない場合は、夢ができたときに叶えられる力があれば良い」「夢はでっかく根は太く」「好きという気持ちは強く」「変化を恐れない」等についてお話しいただき、生徒は、とても興味深く拝聴していました。これからの社会がめまぐるしく変化し、想像を超えた世の中になっていく可能性がある中、今までの職業観から脱した新たな社会貢献の選択や、未来を見つめる先験的な目と行動力が必要になってくると話を伺って感じました。